



近畿支部会報2022年10月号

支部長 Ak

泉州に住んでいた時、秋祭りと言えはだんじりでした。岸和田が有名なのですが、古い自治会単位でだんじりを持っていました。道路はだんじりが優先のため、通り過ぎるまで待っていました。秋には太鼓と笛の練習とみなさん体力をつけるためよく走り込みをしていました。何台ものだんじりの宮入りとパレードは壮大でした。夜は走らず灯りを灯して引いていました。

久御山町にあるさぐり神社秋祭りは、3年ぶりの開催になりました。本殿は修復中のため仮殿より静かに御旅所へと向かいます。御旅所には二基のお神輿もおかれています。この地域にはお稚児さんの風習があり毎年選ばれています。今年は小学生の巫女の舞も披露されました。二つの自治会で、子供神輿の行事が無事終わり、御旅所から仮殿へと神様も帰られました。

地域の祭りは五穀豊穡の意味もありますが、とても楽しみな祭りです。

今回の会報は、次の内容でお届けします。

- | | | |
|--------------------------|-----|----|
| 1. 例会報告 | 草津市 | Nn |
| 2. 南山城村メガソーラー開発地の視察に参加して | 京都市 | Ht |
| 3. Anachan おいでやす | 京都市 | Ht |
| 4. 総会お知らせとお願い | 支部長 | |

1. 例会報告

草津市 Nn

大津石山寺～寿長生の郷散策（昼食・Sさん宅にてサンドウィッチセット）

参加者は Mt さん・Mk さん、Y さん・Y さん・K さん（M さんのお友達）、Ht さん、Ss さんと Nt さん（H さんのお友達）、At さん、Ak さん、Km さん、Wa さん、Sy さん・Ss さん、Nm・Nn の 16 名です。

お天気も良く、滋賀県の会員のみなさまのお迎えで JR 石山駅をスタートして石山寺参拝に行きました。ちょうど紅葉の始まりでもありモミジが色づいてきれいでした。大きく茂った木々のトンネルをゆっくりと歩きながら会話を楽しみ拝観しました。1 時間半ではすべてを見ることが出来ませんでした。本堂とその周辺、文字通り突き抜けるような青い空と木々の間から見える瀬田川を満喫することができました。散策後は正面で記念撮影。お楽しみのランチ会場である会員 S さんのお宅に向かいました。新しくできた令和大橋を通過して田園風景の広がる景色に「いいところですね〜。」という声も。





ランチはパンプキンスープ・サンドウィッチ・青パパイヤと水菜を使ったサラダ・アップルパイにコーヒーと中国人参茶と黒煎玄米茶をいただきました。お土産にお菓子とAさん宅で採れた日本ミツバチの貴重な蜂蜜、中国人参茶と、Sさんからパンをいただきました。会員と会員外のみなさんとの交流で時間のたつのも忘れてしまうほど愉しく、美味しく、ステキなランチタイムでした。Aさんにセルフタイマーをセットしていただいて、全員で記念写真を撮って、寿

長井の郷に移動。

心身共に満たされた思いで、ゆったりと寿長生の郷を散策しました。最初に目についたのがとれたての野菜や山野草の無人販売。引き寄せられるようにスーッと寄り思わず買い求めて散策へ。(帰り再び立ち寄る姿も見られました。本当にみるからに新鮮で安かったんです♡) 寿長井の郷も広くてまわりきれませんでした。生け花を愛でたり、売店などをのぞきながら会話を楽しみ、1時間ほどゆったりと過ごしました。山間の日が陰りはじめるころになり、懐かしい再会も初めての出会いも、お互い出会えたことを喜び合い、また次会える日を楽しみに散会しました。

2. 南山城村メガソーラー開発地の視察に参加して

京都市 Ht

地球温暖化で、今年我が国では死者が出るほどの大型台風や豪雨があり、世界では40度を超す高温の所が増えたり、パキスタンでは洪水で国土の3分の1が水没しました。地球温暖化は今や「気候変動」ではなく「気候危機」と言われています。18世紀の産業革命以後、人間は石炭や石油などの化石燃料を燃やして、たくさんのエネルギーを得てきました。その結果、大気中に排出される二酸化



炭素が急速に増加してCO₂が地球を覆い、熱が放出出来なくなって地球に残り、これが地球温暖化をもたらしているのです。これ以上の温暖化をくいとめるために、温室効果ガスを排出する化石燃料から脱却し、再生可能エネルギーへの転換が急務です。

そんな時、標記の視察会があったので、参加しました。

南山城村のメガソーラー建設予定地は京都府唯一の村、南山城にあり、甲子園球場



メガソーラー建設予定地



造成後山はなくなり土がむき出しになっている

70 個分の広さです。メガソーラーを設置するために、河川を付け替え、山を削り、谷を埋め立てる大規模な造成が行われています。その大規模な自然破壊のために、災害の危険性や貴重な自然環境の破壊が指摘されていて、反対運動が起きています。

「現地視察」

JR 木津駅に集合して、車に分乗して建設予定地の視察に行きました。建設予定地は駅からも見えていましたが、車が進むにつれて豊かな田園地帯の向こうに一段と高くなってそびえる建設予定地が大きく見えてきました。道路の方が建設予定地より低い所にあり、又予定地は道路のすぐ側にあるのではないので、その全体がわかるように見る事は出来ませんでした。かなりの距離を車で走ってもいつまでも予定地は続くので、その大きさは実感出来ました。豊かな自然の中に現れる土むき出しの大きな土地は不気味でした。田園と予定地とののり面がコンクリートで覆われています。その所々に穴があり、そこに木が植えられています。それを法令で定められている残置林にするという事です。「えっ！ こんな人工的な物が残置林？」という感じでした。側を流れる小川に生えている稀少な植物、それも川の付け替えで無くなってしまおうそうです。川の水は地面の下を流れるように工事されています。豊かな自然が巨大な土むき出しの土地になり、その上に太陽光パネルが設置される場面を思い浮かべると、いくら再生可能エネルギーが必要だと言っても、こんな物は要らないと強く思いました。



田園とその向こうに広がる建設予定



車から見た建設予定地



コンクリートに穴を掘って植えられている木



川の水を地中に流す工事

メガソーラー開発地を視察した後、南山城村本郷コミュニティーセンターに移動して南山城村の自然を守る会代表の 橋本洋一さんに話を聞きました。

「橋本洋一さんの話」

(1) 計画の問題点

1. 予定地は全て砂防指定地で土砂災害が懸念される場所である。事実、昭和 28 年にこの流域で集中豪雨による土砂災害が発生した。又、予定地にある砂子田川は埋め立てて流路を変更・付け替える計画である。川を埋め立てた上に盛り土をして盛り土の下流部に調整池が建設されるが、安全性に非常な疑問がある。

2. 自然環境の破壊である。

予定地 80ha の森林の内、15%の残置林を除いて森林を伐採して盛り土し、そこに太陽光パネルを設置する。美しい自然景観が台無しである。森林の持つ CO₂ 吸収機能が失われる。動物や植物の生態系を破壊される。地下水系が破壊され、湿地帯が消滅する。保水能力が落ちて、農業用水が確保できない。

3. 信用できる開発事業者ではない。

開発業者は資本金 1000 万円で、事業費の 180 億円は銀行融資である。事業終了後の跡地や調整池処理、産廃処理について不明確である。2016 年に会社のデベロッパーが暴力団関係者と詐欺罪で逮捕された事がわかった。

4. 使用される太陽光パネルに問題がある。

使用されるパネルは First Solar 社製でカドミウム化合物が含まれていて、健康破壊を引き起こす危険がある。

(2) 住民の運動

この計画は 2013 年会社が経産省や中部電力に申請をした時から始まっているが、住民がこの事を知ったのは 2015 年に京都新聞がこの計画について報道したのを見た時である。計画の問題点を憂慮している住民は早速「南山城の自然を守る会」を始め、数々の団体を立ち上げて反対運動を展開した。しかし、2018 年に京都府森林審査会が林地開発の答申を承認し、2019 年京都府が森林法に基づく林地開発許可と砂防法に基づく砂防指定地内行為の許可を決定した。住民は上記 2 つの許可の取り消しと工事差し止めの行政不服審査を請求した。しかし、京都府の審査庁は申請から丸 3 年を経た 2022 年 4 月、不服審査請求を却下し、林地開発を許可した。砂防指定地内行為の許可については現在も審理がストップしている。住民は引き続き反対運動をしているが、事業はこのような経過の中で進められている。

「感想」

メガソーラーが全て悪いのではないでしょうが、外国資本や国内大企業の儲け目的に投機的にすすめられるメガソーラーや大規模ウィンドファームやパーム油発電などが全国的にも問題になっています。反対に、既に近畿支部会報で紹介したように、高知県の梶原での発電用風車 2 基を設置して、そこで得た電力を四国電力に売電して、その資金で町民の生活を豊かし、2050 年にはエネルギー自給率 100 パーセントを目指す取り組みを始め、長野県の「信州エネルギー地産地消プロジェクト事業」や岡山県西栗倉村の「温



長野県

室効果ガスの大幅削減を目指す環境モデル都市としての取り組み」等、多くの自治体が住民本位の再生可能エネルギーの事業を進めています。又、同じく支部会報で紹介した新婦人京都府本部が亀岡の農民連産直センターの屋根に太陽光パネルを設置して、その利益で地域農業を守る取り組みをする等、民間でも住民本位の多くの取り組みが進められています。

ロシア・ウクライナの戦闘が激化し、エネルギー確保が大きな問題になっている今、東日本大震災で原発の危険性を十分体験している日本においても、政府は原発の再稼働や新增設、CO₂を排出する石炭火力発電を進めようとしています。エネルギー確保のために「地産地消の再生可能エネルギーを進めていくためにどうすれば良いか」、南山城村メガソーラーの開発地を視察して改めて考えた次第です。

3.Anachan おいでやす

京都市 Ht

9月15日

日本文化が大好きな Anachan は着物を着て外出される機会も多いです。それで、今は着なくなった私の若い時の着物を良ければ貰って下さいと連絡した所、勤務が終わってから来てくれました。我が家は古い日本家屋なので、家に入るや「床の間がある」「この掛け軸は秋の風景ですね」と見入っていられます。Anachan の日本文化大好きはただ物ではありません。ウクライナで大学を卒業される時も、袴を着られたそうです。



その時京都では「ウクライナからの手紙」というウクライナの風刺漫画家6人による60点の作品と日本へのメッセージの展覧会がありました。丁度この日、NHK テレビで展覧会に関する放送があったので、一緒に見ました。一人の漫画家が「ロシアによるウクライナ侵攻が始まって以来、自分の絵の色が暗くなっている、僕はペンが武器なので100点以上の漫画を描いて世界に発信している」等言われました。ウクライナ語なので Anachan は何度もうなずいて聞いていました。放送が終わって、早速筆筒一杯の着物の点検、たくさん好きな着物が見つかって、帰りはタクシーになりました。



ご近所のご夫婦もお誘いして Anachan、私たちも含めて5人で夕食。Anachan はお忙しいのに、その日は5時に起きてウクライナのパンケーキを作ってきてくれました。お手間入りのピサンカもプレゼントして下さいました。もう一軒のご近所からも Anachan を励ましたいとプレゼントが届いていたので、そこにもパンケーキをお裾分け、挨拶に来られたり、とても和やかなひとときでした。

10月11日

今度は帯締め等小物も整理して Anachan に連絡しました。Anachan は地味な柄もお好きなので、帯締めなどの他、母の着物も選ばれました。もう一軒のご近所さんをお誘いしての夕食となりました。Anachan は三味線に加えて日本舞踊も習うようになりました。春には都をどりを見に行かれましたが、今度は北野踊りを見に行かれて、都をどりは華やかだけど観光客向けのアレンジがある、北野をどりは本当の日本舞踊で良かったとの感想に、Anachan が日本文化に興味をもたれた理由とそれをどのように深められたか等伺って、私たち以上の知識の Anachan に、またも私たちが日本のことを教えて貰うことになりました。ご主人は大谷高校の校長先生で、大谷高校では若い時から広く世界を理解することが大切だと国際交流部を設置し、よく外国と交流されています。Anachan にも学校でウクライナについて講演をしてもらえたらと話が進みました。ただ、大谷高校は私立で Anachan は京都市の採用なので、日々授業がある中どのように実現するか、両方のトップの交渉が必要になっています。

さて、Anachan の荷物、ご近所から日本人形のプレゼントもありとても膨れ上がりました。この間の物だけでも箆笥が必要だとリサイクルショップで箆笥を探しているのに、今度は部屋がいたと言われて

ました。持てる物をもたれて、後は私の友達に Anachan の家に運んで

貰う事にしました。そのため、11月1日、勤務が終わって我が家に来られて私も一緒に行くことになりました。



4. 総会お知らせとお願い

支部長

*日時：2022年11月27日（日）11時30分より総会を開催します。久しぶりにみなさんとお話したいと思っています。場所は梅田です。

費用：COURSE LUNCH 2,500円（税込）

参加希望者は支部長まで連絡してください。

